

安藤ともき 埼玉県議会議員 通信

実績レポート版



県政に関するご意見・ご要望をお寄せ下さい。

自宅事務所

〒352-0011
新座市野火止3-7-40
TEL&FAX 048-485-9015

埼玉県庁公明党控室

〒330-0063
さいたま市浦和区高砂3-15-1
TEL 048-822-9606
FAX 048-822-9408



ホームページ

<http://ando-tomoki.jp>



Twitter
@goantomo

一人のために。埼玉、新座のために走る！ 2023年 No.121



プロフィール●安藤友貴(あんどともき)●1975年5月12日生まれ●兵庫県出身●関西大学工学部卒●2011年4月埼玉県議会選挙初当選(現職3期目)●妻、長女、次女の4人家族●県土都市整備委員会/副委員長●公明党埼玉県本部青年局長

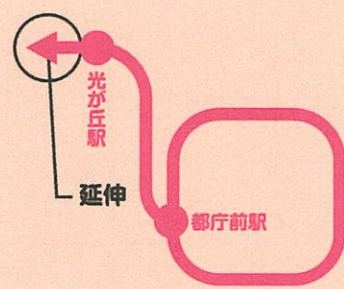
1.地下鉄12号線早期の延伸実現に向けて要望活動

7月13日、都市高速鉄道12号線(地下鉄12号線)延伸促進協議会として知事に要望を提出しました。

早期整備着手に向けて、東京都との連携を更に深め、協議・調整を推進するとともに、調査費の予算化、検討組織の立ち上げ等により、早期の延伸の実現を要望いたしました。

知事より「本年4月に発表しましたこれからの4年に向けての政策集において12号線延伸について記載しており、今後とも皆様とより一層緊密に連携しながら着実に推進してまいりたいと考えております」とのコメントをいただきました。

これから全力で取り組んでまいります。



地下鉄12号線
(都営大江戸線)

2.新座中学校前横断歩道に手押し信号の設置を！



埼玉県警察へ要望書をPTA会長、野中やよい新座市議会議員と一緒に提出しました。

新座中学校前の横断歩道に手押し信号の設置を求める要望書です。

今年度より保健センターが中学校向かいに移設され、交通量も増えております。

新しくなった保健センター側のバス停留所にバスが停まっている時に、関越側から来る車がバスを追い越して通るのですが、すぐそばにあるこの横断歩道を渡る生徒達の姿がバスの影で見えず、大変危険な状況です。

状況を調査し、今後回答を致しますとお話をいただきました。



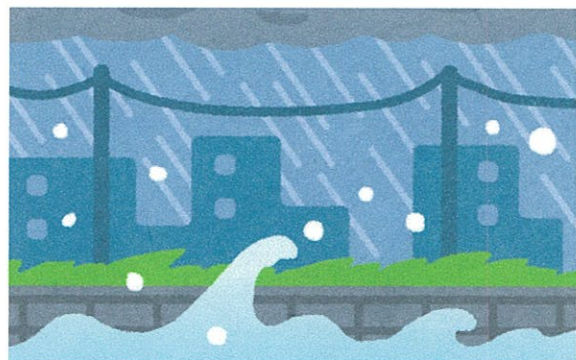
3.大野知事へ豪雨対策緊急要望書を提出



この度の豪雨により被害に遭われた方々に、心よりお見舞い申し上げます。

6月2日からの大雨および台風2号により、本県でも甚大な被害となりました。

私も新座市内のパトロールや情報提供いただいた方との連携で冠水被害箇所の対応に追われる一日でした。天候が回復してからも各地



で被害状況が明確になり現場へ駆けつけました。

埼玉県では越谷市、草加市をはじめ東部地方で甚大な被害となり、県管理道路では22カ所通行止めとなりました。

このような状況を踏まえ、公明党県議団として大野知事に緊急要望書を提出しました。

特に、県と市の連携、総合的な治水対策をはじめ堤防の強化や排水機場の適正な運用を求めました。今後もしっかり対応してまいります。

4.横断歩道での歩行者事故防止に向けて

横断歩道での歩行者の事故が増加しています。信号機のない横断歩道では自動車が停車しなければなりません。

信号機のない横断歩道における自動車の停車率は令和2年の12.4%と比較して昨年度では34.5%となり大幅に上昇しました。

公明党として手上げの横断の推進や電信柱などに「止まってください」の横断幕を取り付けるなどの実施を推進したことで少しずつ改善してきました。しかし、まだまだ全国的には低い状況です。横断歩道標識の下にライトアップ表示板を設置し、搭載したセンサーが歩行者を感知すると「横断あり」の文字が点灯するものが本県でも少しずつ設置されてきました。今後歩行者の安全のためにも積極的に設置を訴えてまいります。

安藤ともき通信

埼玉県議会議員

実績レポート版



県政に関するご意見・ご要望をお寄せ下さい。

自宅事務所

〒352-0011
新座市野火止3-7-40
TEL&FAX 048-485-9015

埼玉県庁公明党控室

〒330-0063
さいたま市浦和区高砂3-15-1
TEL 048-822-9606
FAX 048-822-9408



ホームページ

<http://ando-tomoki.jp>



Twitter
@goantomo

一人のために。埼玉、新座のために走る！ 2023年 No.120



プロフィール●安藤友貴(あんどともき)●1975年5月12日生まれ●兵庫県出身●関西大学工学部卒●2011年4月埼玉県議会選挙初当選(現職3期目)●妻、長女、次女の4人家族●県土都市整備委員会/副委員長●公明党埼玉県本部青年局長

带状疱疹ワクチンについて

高額ワクチン費用の助成や定期接種化を推進！

「带状疱疹」は、メデイアでもよく取り上げられ、社会的関心が高まっています。初めは「ヒリヒリ」「チクチク」といった皮膚の痛みがあり、その後、水膨れを伴う赤い発疹が带状に広がります。眠れなくなるほどの激しい痛みを伴うことも少なくありません。

国立感染症研究所の調査では、50歳以上から発症リスクが上昇し、70歳以上でピークに。そして、80歳までに3人に1人が経験すると報告されています。高齢者にとって、とても怖い病気



一方、「带状疱疹ワクチン」は無毒化したウイルスを使った不活化ワクチンで、予防効果は90%〜97%と高いものの、副反応は接種部位の痛みが8割、発熱が2割の人に出るなどあります。こちらは2回打つ必要があり、費用も計4万円程度と高額です。

予防に有効だと分かっても、ワクチン接種をためらう背景に



です。

带状疱疹に有効なワクチンは「水疱瘡ワクチン」と「带状疱疹ワクチン」の2種類があります。「水疱瘡ワクチン」は弱毒化したウイルスを打つ「生ワクチン」で予防効果は約51%。大人が带状疱疹の予防目的で打つ場合は費用が自己負担となり、1万円程度がかかります。



は高額な費用がありません。公明党県議団としても、国と連携しながら、带状疱疹ワクチンに対する助成や定期接種化を進めて参ります。

2種類の带状疱疹に有効なワクチン



水疱瘡
ワクチン

带状疱疹
ワクチン

	水疱瘡 ワクチン	带状疱疹 ワクチン
接種回数	1回	2回
予防効果	約51%	約97%
費用	約1万円	1回当たり2万円

朝霞地区4市

新座市、朝霞市、志木市、和光市

県水送水管の耐震化と老朽化対策



浄水場をはじめ、インフラの老朽化が深刻になっています。目に見えない箇所であれば劣化も分かりやすいですが、地下に潜っている埋設管は分かりにくく、整備も難しいのが現状です。県が管理する上水の「県水送水管」【写真】は県内に777kmあり、埼玉県の上水の約73・9%を県が担っています。地元の朝霞地区4市（新座市、朝霞市、志木市、和光市）は、県が管理する水道「県水」に依存する割合が71・4%と高く、市民の生命と暮らしを守るライフラインとして極めて重要です。



しかし、現在の県水送水管の耐震化率は40・5%です。こうした状況を踏まえて、昨年8月26日に朝霞地区4市の市長の連名で、大久保浄水場から朝霞地区4市への送水管の耐震化と老朽化対策の推進について要望書を大野知事へ提出しています。これらの送水管の耐震化と老朽化対策を進めていくべきだと考え、私は議会で現状の推進状況を質問しました。県からは埋設管の劣化状況に関して「AIを活用し、県営水道の管路全体について劣化診断を実施している。診断結果を踏まえた効率的な管路更新に取り組んでいく」との回答がありました。これからも市民の命を守る防災・減災対策に取り組んで参ります。

都市計画道路保谷朝霞線について



都市計画道路 保谷朝霞線は国道254号を起点に、県南西部の県道練馬所沢線を結ぶ4千440メートルの広域幹線道路です。産業道路より南の第一期区間は、令和2年4月7日付で幅員（道路の幅）が20メートルから27メートル（4車線）へ都市計画変更が行われ、事業が推進中です。保谷朝霞線の予定地である、野寺・道場・畑中地区ではこれまで大雨による浸水被害が発生しています。今まで自然浸透していた箇所が道路整備によって浸透しなくなった場合

に、新たな雨水の受け皿が必要で、市が必要で、そこで私は、市の雨水管の連携だけでなく、道路を整備する県としても雨水の受け皿を考えていくべきと訴えました。一方、車の経路が大きく変わると、新たな危険箇所が発生します。設計段階から想定し、安全対策や信号機の設置、右折レーンの整備など市および自治体、警察本部と連携を取り、整備後に新たな要望が出ないよう事前に調整を行うべきだと重ねて訴えました。これからも住みやすい新座へ更なる取り組みを決意しています。

埼玉県議会議員【草加市選出】

県議会ニュース

2023. 夏号

草加市新里町 1422 番地
☎ 048-929-2366

県政に関するご意見
ご要望をお寄せください。
TEL048-822-9606
FAX048-822-9408

公明党埼玉県議団ホームページ
www.komei-saitama.com

がもっ 徳明

GAMOU NORIAKI REPORT SAITAMA SOKA



南1区草加市
県議会議員

蒲生 徳明

埼玉県、そして地元草加市の未来を拓くために、 日々感謝の思いを忘れず、全力で働いて参ります!

県民の皆様、そして草加市民の皆様こんにちは。

日頃より、蒲生徳明の県政活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今回の県政報告は、前号以降の議会活動、要望活動、そして日常の現場での活動を含めご報告をさせていただきます。

新しい年度も迎え、我が埼玉県議会公明党議員団も新たな決意で県政の発展を目指して参ります。私は、どこまでも県民そして地元草加市民の現場発のお声に耳を傾け、要望実現のために邁進してまいる決意です。尚一層のご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

◇改選後の初議会：初顔合わせ会

5月17日

改選後、「初顔合わせ会」が開かれました。埼玉県議会公明党議員団は、新人二人を合わせて9名で新たなスタートをきらせて頂きました。県民の幸福の実現の為に、どこまでも団結第一で全員が走り抜く決意です。



◇5月臨時会が開会（5月23日～24日）

改選後、初めての議会5月臨時会が開会され、物価高騰等に対応するための補正予算の決定（3月24日の知事への予算要望の4項目がこの補正予算にすべて盛り込まれました。）や議長、副議長の選任、又常任、特別委員会の選任をはじめ、新たな議会構成が決定しました。私は、企画財政委員会、公社事業対策特別委員会委員としてスタートします。

◇6月定例議会が開会（6月19日～7月7日）

今定例会の一般質問には権守幸男議員が立ちました。物流業界の2024年問題について人材確保対応を質問。知事は、「企業人材サポートデスク」において人手不足業界に特化し、物流業界向けにも面接会や業界セミナーを実施しているほか、若者に対する物流業界の魅力を伝える企業説明会の開催や、より少ない人員でも対応できるよう、業務の見直しと効率化のためデジタル技術の導入に向けた相談やIT企業とのマッチングなどを行っていることと答弁。また、災害時の被害情報の収集で正確性とスピードのバランスをどう取るのかを質問。

危機管理防災部長から、災害時の迅速な被害情報報告の重要性について、市町村担当会議や図上訓練の場で周知していく旨答弁がありました。その他、現場感に立った質問を展開。今定例会は、新人2人を含む全員が委員会質問に全力で取り組みました。これからも公明党議員団はどこまでも現場主義で、県民の声の実現のために全力を尽くしてまいります。



最近の主な活動から 前号掲載以降の活動

①知事への要望

◆県民の思いにお応えするために知事要望を。(公明党県議団)
※現下の課題である物価高騰をはじめ災害対応など県民の皆様にお応えするために、様々な生活現場のお声をお聞きし、オンタイムで知事要望を行いました。

(詳細は公明党埼玉県議団ホームページをご覧ください)

2023年3月24日

◆物価高騰への追加対策に関する知事要望

大野知事に「物価高騰への追加対策に関する要望」を県本部、県議団合同で行いました。①LPガス利用者への支援②医療機関や福祉施設などの光熱費等への支援

③学校給食費など食材費値上がり分の補填

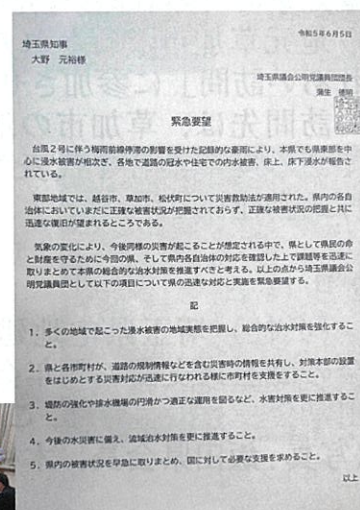
④価格転嫁が難しい中小企業者への支援、です。県の迅速な対応を求めました。



6月5日

◆台風2号の豪雨災害を受け、知事へ緊急要望

台風2号による豪雨災害を受けての県の対応と、今後の取り組み、そして市町村との連携のあり方等について、公明党県議団として県民の生命と財産を守る観点から、緊急知事要望を行いました。



※関連：地元草加市の被害状況を視察、住民の方の声を聞きました。

6月3日

被災地域の方は眠れない夜であったと思います。本当に降り止まない雨でした。
私も、国、県、草加市、市議員と連絡を取りながら対応を求めました。
午後、石井啓一衆議院議員が、合間をぬって草加市の被災現場に駆けつけてくれました。



浸水被害 現地を調査
石井幹事長
総合的な治水強化へ

②国・市と県の連携を進める

◆地元草加市の発展のために国交大臣要望

3月8日

齊藤てつお国交大臣とお会いする機会をいただき、埼玉県、地元草加市民にとって大変有益な、東埼玉道路の整備促進と横軸道路の推進、渋滞緩和等について要望を行いました。草加市の発展に欠かせない事業です。今後も積極的に取り組んで参ります



◆斎藤国交大臣の道路整備の現場視察に同行

6月25日

地元草加市も含む住民生活向上のため、齊藤国交相の道路整備の現場視察に八潮市で東埼玉道路・外環八潮スマートインターチェンジ（IC、仮称）、三郷市で同市と千葉県流山市を結ぶ三郷流山橋有料道路の建設現場の視察に石井啓一衆議院議員、西田まこと参議院議員らと同行。視察後、三郷市文化会館にて、6市1町の首長からの、道路及び、治水関係の要望書の提出があり、私も出席しました。



住民生活向上へ力尽くす
青柳国交相
埼玉で道路整備の現場視察

③日常の議員活動等

◆県議会議員としての会合等への参加（前月号後）

2月14日

◆知事の「ふれあい訪問」に参加

地元草加市で行われた、知事の「ふれあい訪問」に参加させて頂きました。訪問先は、草加市の地場産業の一翼である皮革業者を代表され、河合産業株式会社様です。



2月14日

（公社）埼玉県宅地建物取引業協会の埼玉東支部の新年会に出席。飯田県会長も出席され、ご盛会でした。（写真：飯田県会長、木村東支部長）



2月17日

草加市北部、中央部、東部工業会の三部合同新年会が開催され、挨拶をさせて頂きました。三部合同でしたので、コロナ対策を行いながらも、ご盛会でした。



5月8日

草加市観光協会の総会後の懇談会に出席。草加市には、誇れる観光資源がたくさんあります。にぎやかに満ちた人々の行き交う宿場町草加の今をかなえたいと思います。（写真：佐々木観光協会会長と）



5月21日

早朝にグランドゴルフ同友会で挨拶の後、地元マンション自治会の理事会に参加。
午後からは、日本ボーイスカウト埼玉県連盟ひがし地区協議会の年次総会に参加。県議員を代表して挨拶をさせて頂きました。子ども達の未来を拓くために懸命なスカウト関係者の皆様に敬意を表します。



5月28日

「草加市青少年相撲振興会」の定期総会で挨拶をさせて頂きました。
子ども達の未来に夢をはせて相撲を通して体当たりで健全育成にあたる皆様に感謝と敬意を表します。



5月29日

午前中に、「草加光陽育成会」（障がいをもつ子どもの親、保護者の会）の定期総会で挨拶の機会をいただきました。議会質問、要望活動を通して応援をさせていただきます。



5月29日

加須市「パストラルかぞ」にて、中川・綾瀬川流域改修促進期成同盟会の総会が開催されました。私自身、河川整備の推進に努めて参ります。



6月7日

そうか革職人会通常総会後の懇親会に参加。又、柳島工区の県工事中での光ケーブル切断事故の早期復旧を県に要望。



6月8日

午前中に団体の方と意見交換のため東京へ、その後、県民相談対応のため県庁へ、夜は埼玉県社会保険労務士会定期大会後の祝賀会に参加。



6月18日

草加ライオンズクラブ結成55周年記念式典に参加させて頂きました。ご盛会でした。
「我々は奉仕する」を合い言葉に、様々な社会奉仕活動を進める皆様にあらためて敬意を表します。写真は、押田英樹55代会長です。



6月20日

草加商工会議所通常総会に参加。挨拶をさせていただきました。野崎会頭と懇談しました。



7月8日

「草加八潮警察官友の会」総会後の懇親会に出席。人口比に対し、日本一忙しいのが埼玉県警。その中でも、最も忙しい署の一つが草加警察署です。草加八潮市民の生命と財産を守るために日夜全力で動いて頂いております。心から感謝です。(山本草加警察署長と)



7月13日

「埼玉県議会議員待遇者会」で石渡前議員と懇談。造詣の深い医療関係の分野で無償で奉仕される活動をされています。尊敬致します。



8月4日

第73回利根川治水同盟治水大会に出席のため宇都宮まで。出席した埼玉県議会議員皆でワンショット。



8月7日

地元草加市の井手大喜さんが代表を務める「NPO法人フォーケアラーズ」開催のイベント『ケアラーについて考える時』に参加しました。ケアラーの実態をより多くの皆様に知って頂くためにも、又、ケアラー支援をより実のあるものにするために全力を尽くします。



④現場を歩き地域住民の声を聞く

2月19日

ついにヤギの「みゆき」ちゃんに会えました。飼い主と懇談。お正月のテレビ番組で草加市出身の芸人さんと共演した、有名なヤギです。お腹が減った時に「メー」と鳴くそうです。癒されました。



2月20日

若い皆さんと草加の未来に向けた対話を、オンラインも活用しながら重ねています。

物価高騰への対策、子育て支援、これからも全力で取り組みます。

同時に、現場の皆様のお声も直接お聞きしています。今回は若いお母さんのお声でした。

一人でも多くの方の声を、想いを政策につなげていきます！



2月26日

草加駅から徒歩5分の ecoma coffee さん。自家製ハムチーズのホットサンドと日替わりホットコーヒーをいただきました！

「今日も寒いですね」との温かい言葉に心も体もホッと。若いみなさんが活躍する地元草加市を全力で作ります！



2月28日

若者世代とオンライントークを重ねています！

お仕事、育児などご多忙な中、貴重なご意見を賜り、本当にありがとうございます！

そうか公園を更に魅力的に、そして、草加市の消防署移転により、命を守り、将来に希望が持てる草加市へ。全力で働いて参ります！



3月3日

今日は3月3日！地元草加市の皆さまとの交流を重ねている中、素晴らしい雛人形と出会いました。心が癒される瞬間をありがとうございました。春の陽光まばゆい草加市。本日よりはさらに対話の花を大きく咲かせて参ります！



3月5日

本日も一日、走り抜きました！草加市 氷川町で地域の方々と交流していると、「がんばってください」と、声をかけてくれました。未来を担う使命深いあなたに最敬礼です！



3月21日

4月1日より自転車利用者のヘルメット着用が努力義務に。

私も地域を動く際に自転車を利用しますので、セオサイクル草加店さんでゲット！

白も好きですが、青に即決！この相棒と安全運転で動いてまいります！



5月28日

渋滞対策が求められている八条橋の視察を行いました。元建設省で河川や橋脚を担当していた石井衆議院議員と同行。具体的な対応を国と県で検討しなければなりません。



7月2日

生活介護&就労継続支援B型の施設として開所したpace(パーチェ)さんで、私の大切な友人中川かた君が働くことが決まりました。小さい頃からご家族と多くの人達の優しさと愛情を受け止めながら真っ直ぐに頑張ったかた君。新たな出発、本当におめでとう！



7月3日

昨日、草加の夏祭りの初め、「瀬崎浅間神社祭り」に、続いて「草加松原夢祭り」に石井啓一衆議院議員と参加。



8月3日

本日は、親和町会の夏祭りに石井衆議院議員、広田市議と一緒に参加。県と草加市の発展のために力を合わせて頑張っています！



8月12日

草加市の両新田西町町会のお父さん、お母さん方が地域の子供たちのために、心を込めた手作りの流しそうめんを振る舞う席に参加。地域の子供たちは幸せです。



⑤先進例を学び、県政へ反映

6月10日

公明党県議団で、「長野県交通安全教育支援センター」を訪問し、歩行者保護の立場から県内どこでも要請があれば出前で交通費安全教室を実施している当センターの取り組みを視察しました。県警察OBの方が指導員になり、年間1000回以上実施しています。その後、県警の安全対策もうかがいました。



6月14日、15日

北海道函館市、青森県八戸市へ

函館市では、NPO法人「地域支援グループくりの木」を視察。買い物の送迎サービスや、高齢者のみならず、ひきこもりや不登校の人などの居場所づくりの取り組みを伺いました。



八戸市では、「八戸ブックセンター」を視察

同センターは、「本のまち八戸」を推進する中心拠点として、本に関する新たな公共サービスを提供することで、市民の皆様には様々な本に親しみ、豊かな想像力や思考力を育みながら本のある暮らしが当たり前になることを目指しています。



7月5日

「サーキュラーエコノミー推進センター」を視察

埼玉県では、資源の再利用などを積極的に取り組み循環経済（サーキュラーエコノミー）を進めようとする県内企業へ

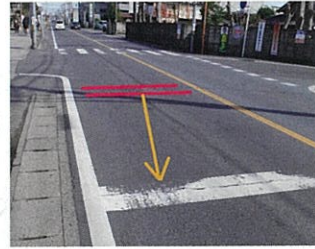
の支援をめざす「サーキュラーエコノミー推進センター埼玉」（さいたま市）を今年6月から開設。公明党埼玉県議団として、同センターを訪れ、利用状況などを伺いました。



⑥最近の実績等

3月4日

地元草加市で同じ九州出身の社長さんから頂いた市民相談。新里の交差点前の停止線の位置を大型車が右折できる様に変更。これからも目の前の一人の声に真剣に向き合っています！



3月31日

「草加市全小中学校体育館へのエアコン設置完了」

私の提案した国の予算を活用し、草加市全小中学校体育館へのエアコン設置完了!! 最後の設置校になった新田小学校を訪問！

⑥埼玉県の新年度予算について

【令和5年度埼玉県当初予算について】（一部埼玉県ホームページより転載）

「ポストコロナ元年」として10年、20年先を見据え、埼玉県の持続的な発展につなげていく。こうした基本的な考えに立ち、令和5年度当初予算は、「社会的課題の解決と経済の両立」、「新型コロナウイルス感染症の拡大防止」、「『日本一暮らしやすい埼玉』実現への加速」に最優先に取り組むこととし、限りある財源を重点的に配分して編成した。



⑦埼玉県からのお知らせ

5月2日

コロナ5類移行に伴い、埼玉県は、新たな相談窓口を開設しました。

※受付は24時間です

埼玉県コロナ総合相談センター（令和5年4月21日に開設）

◎内容：受診先の確認・受診を迷う場合の相談

◎電話：0570-783-770 FAX:050-8887-9553（聴覚障がいの方）

⑧思うこと

3月11日

【東日本大震災から12年①】

県内市内の被害状況を把握し、公明党埼玉県本部や市議団とも連携して、日々対策に奔走しました。また、大槌町などの被災地へ物資を届け、福島原発への視察も行いました。



【東日本大震災から12年②】

震災が起きるより前から、阪神淡路大震災を受け開設された兵庫の防災センターを視察。埼玉でも一元化した新たなセンターの必要性を議会で訴え、開設に向けた予算が決定。そして、「埼玉県危機管理防災センター」開設の日には東日本大震災が発災。開設の式典を取り止め、そのまま運用が開始されたのです。

